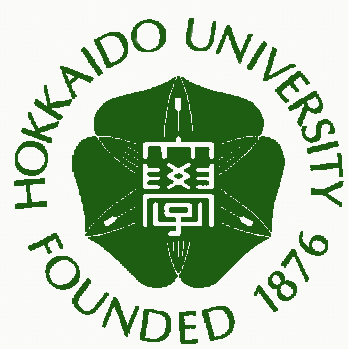




北海道大学映像・現代文化論学会

■ 第 3 回 大 会 ■

- 日程：2019年11月9日（土） 10時～17時30分
- 会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409会議室
【一般来聴歓迎・参加無料・申込不要】

研究発表

10:05～15:25

宮澤賢治「春と修羅」論

— 一光、歩み及び詩の構造の関係性を中心に —

博士後期課程 クジェル・イジー

ジョン・カサヴェテス『アメリカの影』における演出理論と身体表現

博士後期課程 堅田 諒

タル・ベーラ監督の映画空間について

— 初期の映像作品を中心に —

博士後期課程 モルナール・レヴェンテ

ゲームサウンドの地域コンテンツとしての可能性

— 『ポケットモンスター 赤・緑』を中心に —

博士後期課程 杉本 圭吾

言葉を撮る

— 王兵『鳳鳴—中国の記憶』における証言とフィクションについて —

博士後期課程 朱 偉

講 演

15:40～17:15

90年代スピルバーグと「リアル」の変容
— 『ジュラシック・パーク』論 —

早稲田大学教授 藤井 仁子

主催：北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室
問合せ先：研究室主任 中村三春 miharu@let.hokudai.ac.jp